

令和6年度第2回山形市立図書館協議会

日時 令和7年2月12日（水）午後3時

場所 山形市立図書館2階集会室

次 第

1 開会

2 教育長あいさつ

3 委員長あいさつ

4 報告

(1) 令和6年度図書館事業について（中間報告） 資料1・別紙

(2) りぶ活 yamagata について 資料2

(3) 令和6年度利用者アンケートの概要について 資料3 ※当日資料

5 協議

(1) 令和7年度図書館事業（案）について 資料4・別紙

(2) 令和7年度「山形市児童・生徒 読書全力応援プラン」（案）について
資料5 ※当日資料

6 その他

7 閉会

山形市立図書館協議会 委員名簿

任期 令和5年6月1日から令和7年5月31日まで

	氏名	役職等	備考
1	伊藤 弘昭	東北文教大学人間科学部こども教育学科 准教授 附属図書館副館長	委員長
2	井上 幸弘	図書館ボランティア「小荷駄のみどりから・・・」 運営委員長	副委員長
3	高梨 明恵	山形市小学校長会・山形大学附属幼稚園長	
4	前田 洋光	山形市中学校長会・山形市立第四中学校長	
5	小鹿 泰子	認定特定非営利活動法人 やまがた育児サークルランド ベにっこひろば施設長	
6	沖津 卓也	山形商工会議所青年部理事	
7	村形 弘也	山形県立図書館長	
8	渡邊 さおり	山形市PTA連合会・副母親委員長	
9	山口 由美	「えっちゃん文庫」主宰	
10	佐々木 僚	一般社団法人山形市私立幼稚園・認定こども園協会 あおぞら幼稚園長	
11	大場 恵子	元山形県学校図書館連絡協議会長	
12	リサ ソマーズ	翻訳家	

令和 6 年度 山形市立図書館事業について(中間報告)

【基本的方向性】

「山形市教育大綱」及び「山形市教育振興基本計画」に基づき、「生涯学び、人と地域とかがわり、よりよい社会を築く人づくり」を目指します。

また、山形市立図書館基本方針に基づき、生活の充実、地域課題や生活課題への市民の主体的学習を支援するため、多様な資料・情報の充実に努め、身近な情報拠点、地域文化の創造の場としての図書館、さらに市民とともにさまざまな企画や図書館運営を図ることにより、市民のニーズを反映し、市民に身近で親しまれる図書館を目指します。

1 山形市教育振興基本計画における施策の展開

施策の方向 2	生涯学習の推進
基本施策 5	生涯学び、人と地域とかがわり、よりよい社会を築く人づくり
施策 5-2	市民の主体的学習を支援する図書館運営

2 具体的な施策と取組

※実績は全て令和 6 年12月末時点での数値

施策の方向 2	生涯学習の推進
基本施策 5	生涯学び、人と地域とかがわり、よりよい社会を築く人づくり
施策 5-2	市民の主体的学習を支援する図書館運営 図書館に求められる役割が、従来までの「借りる・読む・調べる」とどまらず、利用者や地域の「課題解決に役立つ情報拠点」へと変化してきていることから、市民の主体的学習を支援するための、多様な資料・情報の充実に努めるとともに教養を高めるための多様な講座を開催する。 また、令和 2 年 4 月から令和 5 年 5 月までの 3 年間続いたコロナ禍も明けたことにより、減少傾向であった利用者数及び貸出冊数の回復増に向けた、魅力ある図書館の整備・運営を図っていく。

■取組1 市民の立場に立った図書館サービスの充実



取組の目的・概要(運営方針)	取組の実施状況(実績)
(1) 乳幼児向け資料の充実と子育て支援資料の提供(G4) ① 乳幼児・児童向け資料(絵本、物語等)の収集に努め、資料の充実に努める。 ② 子育てに役立つ絵本紹介パンフレット「絵本と遊ぼう」の作成・提供を行う。 (2) 中高生向け資料の充実(G4 G5) 中高生向け資料の収集に努め、ヤングコーナーの充実を図る。また、資格取得や起業を含めた中高生の進路選択に役立つ資料の収集を行う。 (3) 高齢者・障がい者向け資料の収集と館内環境の整備(G3 G4 G10) ① 「読書バリアフリー法」(R1.6.28 施行)の目的に沿って、高齢者や障がい者が利用しやすい大活字資料や録音図書資料を収集し、手に取りやすい本の配置と環境の整備に努める。 ② 高齢者、障がい者、その家族の関心の高い趣味や医療・介護・福祉等の資料の収集に努める。 (4) 来館困難者への資料提供(G3 G4 G10) 団体貸出を通して、老人福祉施設や障がい者福祉施設に入所されている方への資料提供を行う。	(1) 乳幼児向け資料の充実と子育て支援資料の提供 ① 乳幼児・児童向け資料(図書・紙芝居等)の資料の収集を行い、児童書コーナーの充実を図った。 - 児童図書所蔵数 89,307 冊 (受入 2,163 冊) - 紙芝居所蔵数 3,289 冊 (受入 57 冊) ② 「絵本とあそぼう」を作成し、1歳6ヶ月検診時に配布した。 - 発行 2,000 部 (2) 中高生向け資料の充実 中高生向け資料の収集を行い、児童書コーナー、ヤングコーナーの充実を図った。また、中高生の進路選択に役立つ資料の収集を行った。 - 青少年向図書所蔵数 4,237 冊 (受入 204 冊) (3) 高齢者・障がい者向け資料の収集と館内環境の整備 ① 高齢者が利用しやすい大活字資料の収集を行った。高齢者が分かりやすく手に取りやすい本の配置と環境の整備を図った。 - 大活字図書所蔵数 2,740 冊 (受入 50 冊) ② 高齢者や周りの家族にとって関心の高い趣味や医療・介護・福祉等の資料の収集を行った。 (4) 来館困難者への資料提供 団体貸出を通して福祉施設や放課後児童クラブ等へ資料を貸出した。 - 提供状況 52団体 11,487冊

		(5) 多言語資料の収集と案内掲示(G4 G5)	(5) 多言語資料の収集と案内掲示
		① 外国人とのコミュニケーション等に役立つ英語や諸外国語の会話集等の資料の収集を行う。	① 外国人とのコミュニケーション等に役立つ英語や諸外国語の資料収集、提供を行った。
		② 外国人が利用しやすいような多言語表記による館内の案内板や表示板などの充実を図る。	② 外国人が利用しやすいよう、多言語表記による案内表示の充実を図った。 ● 多言語資料所蔵数 674 冊 (受入 11 冊) ● 外国語絵本所蔵数 561 冊 (受入 1 冊)
		(6) 清潔な館内環境の整備(G3 G4 G11)	(6) 清潔な館内環境の整備
		館内換気の徹底、手指消毒液の設置、図書消毒器・予約本受取ボックスの周知を継続する。	新型コロナウイルス感染症の5類引き下げに伴い返却資料の消毒は終了したが、その他の取り組みは継続して実施した。
評価	成果	□ 令和 2 年 12 月に本館に設置した予約本受取ボックスは、休館時や閉館後でも受け取れる利便性が周知され、34個あるボックスがほぼ毎日利用されている。 ○予約本受取ボックス申込み数 令和 5 年度 R6.12 月末現在 申込み人数 3,717 人 3,545 人 申込み冊数 7,492 冊 5,370 冊	
	課題改善案	■ 貸出者数、貸出冊数が伸び悩んでいる。今後も、児童・青少年向けや高齢者、一般向け資料の収集を行い蔵書の充実を図っていく。 令和6年度目標値 R6.12 月末現在 貸出者数 166,000 人 121,387 人 貸出冊数 795,000 冊 537,464 冊	

■取組2 ICTを活用した情報提供の推進



取組の目的・概要(運営方針)		取組の実施状況(実績)												
(1) インターネット予約サービスの利便性向上(G4) インターネットによる図書館資料予約サービス等の普及を促進するとともに、より利便性の高いシステムとなるよう運用の充実を図る。		(1) インターネット予約サービスの利便性向上 インターネット及び館内 OPAC の他に、新システムの導入により LINE 連携による予約サービスを開始した。 各種図書館資料予約サービスの普及を促進するとともに、より利便性の高いシステムの運用を図った。 利用状況 74.6% (令和6年度目標値 79.0%)												
(2) メール・レファレンスサービスの普及(G4) 電子メールによるレファレンスサービスの利用拡大に努める。		(2) メール・レファレンスサービスの普及 電子メールによるレファレンスサービスを行った。 利用状況 6件												
(3) オンラインデータベースを活用した情報提供(G4) 法令情報や官報情報などのオンラインデータベースを活用した情報提供の周知に努め、利用拡大を図る。		(3) オンラインデータベースを活用した情報提供(G4) 法令情報・官報などのオンラインデータベースを活用した情報提供を行った。 利用状況 <table border="1"> <tr> <td>法令情報</td><td>2件</td><td>0 枚コピー</td></tr> <tr> <td>山形新聞</td><td>2 件</td><td>2 枚コピー</td></tr> <tr> <td>官報情報</td><td>1 件</td><td>0 枚コピー</td></tr> <tr> <td>国会図書館</td><td>0 件</td><td>0 枚コピー</td></tr> </table>	法令情報	2件	0 枚コピー	山形新聞	2 件	2 枚コピー	官報情報	1 件	0 枚コピー	国会図書館	0 件	0 枚コピー
法令情報	2件	0 枚コピー												
山形新聞	2 件	2 枚コピー												
官報情報	1 件	0 枚コピー												
国会図書館	0 件	0 枚コピー												
(4) 時代に対応した新しい図書館情報システムの導入(G4) 更新予定の現行システムについて、時代に対応したシステムを導入し、サービス向上のための機能強化をおこなう。		(4) 時代に対応した新しい図書館情報システムの導入 利用者の要望を踏まえた、新たなシステムの運用を令和6年6月行うことにより、利用者サービスの向上や、職員の事務軽減に繋がった。												
評価	成果	□ インターネット予約について、窓口にて随時、利用者へ案内を行っており、予約全体に対する利用率については、年々増加している。今後も、利用方法等について広報周知を図り、更なる利用者の増加に繋げていきたい。												
	課題改善案	■ オンラインデータベースを活用した情報提供について、引続き利用拡大に向けた周知・広報の充実にも努める。												

■取組3 資料の収集・整備・保存とその提供の充実



取組の目的・概要(運営方針)	取組の実施状況(実績)
(1) 蔵書管理と収蔵スペースの有効活用(G4) ① 提供できる資料について、市民ニーズや資料収集方針に基づき、適切な質・量の確保に努めるとともに、限られた収蔵スペースの有効活用を図る。 ② 保育園、幼稚園などの施設や各種団体、一般利用者に除籍資料を提供しリサイクルに努める。 (2) 郷土資料の充実(G4 G11) ① 郷土に関する資料等の発行情報の把握に努め、図書、雑誌、パンフレット、チラシ、音声・映像等を幅広く収集し提供する。 ② 前年中に出版された郷土関係の書籍について、「市民の出版物展」として2月下旬～3月中旬にかけて展示する。 (3) 地域課題解決の取組支援(G4 G11) ① 山形市、山形県で発行している行政資料や地図等を収集し提供する。 ② 起業、資格取得や就労等を支援していくための資料を収集し提供する。 ③ 子育て、教育、医療、健康、福祉、まちづくり等の市民生活や地域を豊かにするための資料を収集し提供する。 (4) レファレンスサービスの向上と充実(G4) ① レファレンスニーズに対応できる資料の整備や研修等による専門能力の向上を図り、サービスの向上と充実を図る。	(1) 蔵書管理と収蔵スペースの有効活用 ① 市民ニーズや資料収集方針に基づき、適切な質・量の確保を図るとともに、限られた収蔵スペースの有効活用を図った。 ② 保育園、幼稚園等の施設や各種団体には、予約制で提供した。(66 団体利用) 一般利用者には、館内にリサイクルコーナーを設け、約2ヶ月間小出しに提供した。 - 提供資料数 12,000冊 (2) 郷土資料の充実 ① 郷土図書・雑誌・パンフレット・チラシ、映像資料や地図等を収集し提供した。 ② 2024 市民の出版物展 R7.2.22～3.23 開催予定 (3) 地域課題解決の取組支援 ① 山形市、山形県で発行している行政資料や地図等を収集し提供した。 ② 起業、資格取得や就労等を支援していくための資料として、各地の商工月報を収集し提供した。 ③ 子育て、教育、医療、健康、福祉、まちづくり等の市民生活や地域を豊かにするための資料として、各分野で発行している刊行物等を収集し提供した。 (4) レファレンスサービスの向上と充実 ① レファレンスニーズに対応できる資料の整備や、研修等による専門能力の向上を図り、サービスの向上と充実を図った。 - 対応件数 102 件 - 照会事項の例 法人を設立するのに参考となる資料

② 国立国会図書館レファレンス協同データベース、国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービス及び法令情報や官報情報などのオンラインデータベースを活用し、レファレンスサービスの充実に努める。 ③ レフェラルサービス¹の蓄積した情報を整理し、将来のサービスに活用する。		② 国立国会図書館レファレンス協同データベース、国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービス並びに法令情報や官報情報などのオンラインデータベースを活用し、レファレンスサービスの充実を図った。 ③ 求められる情報に関して、その情報源となる人若しくは機関、組織を知らせるレフェラルサービスの提供に際し、必要な情報源の整理を行った。	
(5) 視聴覚資料の提供(G4 G11) 児童・青少年健全育成、地域福祉をはじめ、社会教育に役立つ視聴覚資料を、地域で活動する社会教育団体等へ提供する。		(5) 視聴覚資料の提供 ① 児童・青少年健全育成、地域福祉をはじめ、社会教育に役立つ交通安全啓発DVDなどの視聴覚資料について、カモシカクラブ、保育園、コミセン、公民館に貸出した。 ・ 利用状況 17件 76本	
評価	成果	□ 市民ニーズに応える資料収集を行ったほか、除籍資料のリサイクルに努めた。令和2年度より、福祉施設を対象に、2日間に分けて30分ごとの予約制で提供を行ったほか、一般利用者向けには分館・本館ともに館内に場所を設けて提供を行ったところ、リサイクル率は、ほぼ100%を達成し、利用者から高い評価をいただいたので、今年度も同じ方法で実施し、同様の成果をあげた。	
	課題改善案	■ 蔵書スペースが限られており、所蔵資料の整理などによる所蔵スペースの確保が課題となっており、メリハリをつけた選書を行う。	

¹ 利用者が求めている情報に関して、その情報源となる人又は機関、組織を知らせるサービス

■取組4 多様な学習の機会や活動・発表の場の提供



取組の目的・概要(運営方針)	取組の実施状況(実績)
(1) 講座・講演会の開催(G4 G11) 郷土の歴史や身近な市民のニーズに応える各種講座や、読書週間にあわせた講演会、郷土出身の作家等を招いた講演会を企画、開催する。 (2) 「課題解決に役立つ」実践的なワークショップの開催(G4 G11) 「よのなか科 in 山形市立図書館」等、利用者や地域の課題解決に役立つ実践的ワークショップを開催する。 (3) 幼児・児童向け事業の充実(G4 G17) 「絵本とあそぼう」、「おはなしの広場」などのおはなし会のほか、紙芝居、人形劇、などの多様なイベントにより、幼児・児童が物語等に親しむ機会を提供し、読書活動の推進を図る。 事業実施においては、図書館ボランティアの協力を得ながら、参加しやすい雰囲気づくりに努める。 (4) 展示会のタイムリーな開催(G4 G11) ① 読書への関心を高めるため、読書週間等にあわせて資料を展示する。 ② 山形市平和都市宣言事業として戦争と平和に関する資料を展示する。 ③ 開催する講座・講演会のテーマに沿った資料を展示する。	(1) 講座・講演会の開催 郷土の学識経験者等を講師に招き、講演会等を催した。(別紙参照) (2) 「課題解決に役立つ」実践的なワークショップの開催 ① 若者の短歌ブームを契機に「ツイート(つぶやき)短歌講座」を実施した。学生から高齢者までが参加し、相手を否定・批判しないで、違いを受け入れる思考方法を異世代同士で交流しながら体験的に学んだ。 ② 芸工大生や山科大生の企画運営により、アートワークショップや、性の多様性をはじめとする多様性に関する絵本の読み聞かせを開催し、活動の場を提供した。 (3) 幼児・児童向け事業の充実 「絵本とあそぼう」、「おはなしの広場」などのおはなし会や、人形劇の上演など多様なイベントをボランティアの協力を得て開催した。 (4) 展示会のタイムリーな開催 ① 玄関展示コーナーや館内特集コーナー等を活用し、読書週間、自殺予防月間等、時節にあわせた特集・展示、また季節感のある本の特集、図書館ボランティアの紹介等を行った。 ② 山形市平和都市宣言事業として、戦争や平和への取組に関する郷土資料等の展示のほか、平和へのメッセージコーナーや折り鶴コーナー等を設置した。

(5) 事業実施における図書館ボランティアとの協働(G4 G17) 上記の各種講座・講演会や事業、展示会等の企画・運営は、図書館ボランティアと協働で行う。		③ 開催した講座・講演会のテーマに沿った資料を展示した。 その他、山形西高や山形中央高、山形商業高の生徒によるお薦め本をそれぞれが作成した POP とともに展示した。 (5) 事業実施における図書館ボランティアとの協働 各種事業の企画・運営に際しては、図書館ボランティアと協働で行った。
評価	成果	☐ ボランティアの協力を得て郷土有識者や作家を講師とする講座・講演会、読み聞かせ等の事業を開催した。
	課題改善案	☒ 利用者アンケートや参加者アンケート等を参考にしながら催しを開催していきたい。

■取組5 学校図書館等との連携と教育活動への支援

 4 質の高い教育を みんなに  17 パートナシップで 目標を達成しよう	
取組の目的・概要(運営方針)	取組の実施状況(実績)
(1) 学校図書館の運営支援(G4 G17) ① 学校図書館の運営を支援するため、図書整理員研修会を開催する。 ② 学校を訪問し、学校図書館の運営の工夫や課題について、学校からの相談に基づき情報交換や助言等の支援をする。 (2) 探究型学習の支援の充実等(G4 G17) ① 児童生徒の探究型学習支援のため、学校からの依頼に基づき教科等のテーマに応じた資料を選定し、団体貸出しにより提供する。 ② 夏休み自由研究相談会、読書感想文書き方講座を開催するほか、自由研究のテーマ選定や研究の進め方などに役立つ図書を展示するなど、児童・生徒の探究型学習を支援する。 ③ 学校との共催による学校訪問おはなし会	(1) 学校図書館の運営支援 ① 「学校図書整理員研修会」を令和6年8月開催した。 講師 大場恵子氏(元小学校長) 内容「子どもたちのために読書環境整備を進める」 ② 学校図書館へ訪問したり、団体貸出しのため図書館に来館する教諭と意見交換を行っている。 ③ 「市小学校教育研究会学校図書館部会」の研修を受け入れ、学校図書館との連携を図るとともに、図書館の活用について周知した。 ④ 「本の福袋」事業への参加を呼びかけ、小中学校の図書委員の児童・生徒の協力を得て実施した。 小学校3校 中学校1校 高等学校3校 ⑤ 交流図書館 児童が授業の一環として図書館に来館し、館内の見学その他、貸出しや検索などの利用方法を学んだ後、実施に本の貸出しを行った。 (2) 探究型学習支援の充実等 ① 団体貸出 25校 1,347冊 (R5年度計 27校 1,814冊) ② 自由研究相談会や児童・生徒読書感想文講座を行った。 自由研究相談会 7人 児童・生徒読書感想文講座 14人 ③ 学校訪問おはなし会 山形四小 1回 約106人 山形五小 2回 約201人 西山形小 2回 約92人

を、図書館ボランティアの協力を得て実施する。 (3) 職場体験学習等の受け入れ(G4 G17) ① 中学校2年生の職場体験学習をはじめ、児童生徒の職場体験や就業体験を受け入れる。 ② 小学校のまち探検や社会科見学、中学校の社会科学習等の図書館見学受け入れをとおり、図書館の理解と児童・生徒の利用促進を図る。 (4) 「としかんKids」の発行と学校との協力(G4 G17) 児童生徒の図書館利用を促進するため、本の新聞「としかんKids」を発行し、学校の協力のもと児童・保護者からのお気に入りの本や季節毎のテーマによる児童書の紹介を掲載する。 (5) 幼稚園・保育所等への資料提供と読み聞かせの実施(G4 G17) ① 幼稚園・保育所等へ団体貸出により資料を提供する。(放課後児童クラブを含む) ② 園児に図書館利用の楽しさを感じてもらえるよう、図書館見学などを受け入れる。	村木沢小 1回 約53人 ④ 高等学校の探究学習活動への協力 惺山高、山形中央高、東海大山形高、霞城学園に対して探究学習活動への協力を行った。 ⑤ りぶ活yamagataの取組 部活動の地域移行・地域連携事業を支援する事業として、週末に同じ興味を持つ仲間と共に図書館「Library」を活用し、交流を通じて楽しみながら学び、探究心を満たす学びを体験できるような内容で令和6年度から実施。 ・参加者 市内の中学校 1.2年生 5人 ・活動時期 R6.9.21～12.14 全6回(土曜日の午前中) ・活動場所 図書館本館とべにっこひろば ・指導者 図書館ボランティアサークル代表 図書館職員(元小学校長) (3) 職場体験学習等の受け入れ ① 山形六中の特別支援学級、芸工大生を受け入れた。 ② 山大附属特別支援学校が見学に来館、カウンター業務の体験をした。 (4) 「としかん Kids」発行部数 600部/号 図書館協議会委員の提言を受け、寄稿した児童のクラスには全員分を配布した。 (5) 幼稚園・保育所等への資料提供と読み聞かせの実施 ① 幼稚園・保育所等へ団体貸出しにより、絵本等資料を提供した。 ② 園児等に、小さいころから図書館利用の楽しさを感じてもらえるよう、図書館見学を受け入れた。
--	---

③ 読み聞かせの依頼を受け、図書館ボランティアの協力を得ながら、訪問し開催する。		③ 図書館ボランティアが幼稚園・保育所等に訪問し、読み聞かせを開催した。
評価	成果	☐ 高校との連携による展示や講座、福袋企画などを行うことができた。 ☐ 大学との連携による展示や講座の開催、また、大学生のインターンを受け入れ、ものづくりのワークショップを行うことができた。
	課題改善案	☒ 学校教育現場が多忙だが、司書教諭や図書整理員との意見交換の機会を見つけ、ニーズを把握し、学校図書館との連携や支援ができるよう努めていく。

■取組6 広報・広聴及び情報発信の充実

4 質の高い教育をみんなに 	11 住み続けられるまちづくりを 	17 パートナリシップで目標を達成しよう 
取組の目的・概要(運営方針)	取組の実施状況(実績)	
(1) 図書館だよりの発行(G4 G17) ① 「図書館だより ベにばな」を発行し、利用案内、催し物の開催、図書館ボランティアの活動状況等の情報提供を行う。 ② 本の新聞「としょかんKids」を発行し、紹介本を通して児童・生徒の図書館利用を促進する。 (2) 広報やまがた・市ホームページを通した情報提供(G4 G11) ① 「広報やまがた」を活用し、催し物の開催や図書館利用に関する情報提供を行う。 ② 市ホームページやフェイスブックを活用し、利用案内や催し物開催等の情報提供を行う。 ③ 図書館ホームページで、蔵書案内、新着資料案内、催し物開催等の情報提供を行う。 (3) 本のひろば・出張貸出による図書館PR(G4 G11) ① 山形駅東西自由通路に開設した「本のひろば」を活用し、高校生はじめ若者層に本に親しむ機会を提供するとともに図書館のPRと利用の拡大を図る。 ② 市有施設や「やまがたえきまちなかマルシェ」への参加など出張貸出を行い、図書館	(1) 図書館だよりの発行 ① 「図書館だより ベにばな」を発行し、利用案内、催し物の開催、図書館ボランティアの活動状況等の情報提供を行った。 ② 本の新聞「としょかんKids」を発行し、児童書の紹介を通して児童・生徒の図書館利用の促進を図った。寄稿した児童のクラスには全員分を配布した。 (2) 広報やまがた・市公式ホームページ等を通した情報提供 ① 「広報やまがた」を活用し、催し物の開催や図書館利用に関する情報提供を行った。 ② 市ホームページやフェイスブックを活用し、利用案内や催し物開催等の情報提供を行った。 ③ 図書館ホームページで蔵書案内、新着資料案内、催し物開催等の情報提供を行った。 (3) 本のひろば・出張貸出(出前図書館)による図書館のPR ① 山形駅東西自由通路の本のひろばでは、自由に借りることができる本100冊程度を配置し、高校生はじめ駅周辺施設利用者に本に親しむ機会を提供した。また月替わりで著名人や文化人等のお薦めの本を展示し、本と図書館への興味を誘導するよう努力した。さらに展示に関連した講座やイベントを開催した。 本のひろば@市役所では、郷土資料や山形ゆかりの作品を中心とした本を約60冊を配置し、来庁した転入者や市民、事業者などに身近に本に触れる機会を提供した。 ② 出前図書館を山形駅やコパル等の各所で行い、本に親しむ機会の提供と図書館の	

のPRと利用の拡大を図る。 (4) 利用者アンケートの実施(G4 G11 G17) 利用者アンケートを実施し、利用者の属性や図書館利用に関する意向・要望等の把握に努め、その結果を図書館運営に活かす。		PRを行った。 (4) 利用者アンケートの実施 利用者アンケートや投書箱を通した利用者の意向把握に努めるとともに、その結果を図書館運営に活かす。 ● 期間 1/18(土)～1/28(火) ● 回答数 708 件 ● R5 年度よりインターネットを利用して回答できるようにした(ネット経由回答数 285 件)	
評価	成果	☐ 各季節ごとに図書館だよりを発行したほか、市ホームページ、フェイスブック並びに図書館ホームページなど様々な媒体を活用し、情報提供を行った。	
	課題改善案	☒ 利用者アンケート等を通し利用者の意向を把握しており、今後とも多様化が進むニーズに対応していく必要がある。	

■取組7 市民参加による図書館運営



取組の目的・概要(運営方針)		取組の実施状況(実績)
(1) 図書館ボランティアとの協働(G4 G17) 図書の整理・修理、読み聞かせ、独自事業の企画などを行う図書館ボランティアと協働し、図書館運営の充実を図るとともに、展示会や講座等開催など活動の場を提供する。また、若手を含むメンバーの育成についても支援する。 (2) 職場体験の受入(G4 G10 G17) インターンシップや若者支援NPO、青少年及び一般成人の保護組織が実施する、職業体験、就労研修等を受け入れる。 (3) 図書館協議会での意見や要望等の図書館運営への反映(G4 G16 G17) 図書館協議会における図書館に対する意見や要望等を、図書館運営へ反映させる。		(1) 図書館ボランティアとの協働 図書の整理・修理、読み聞かせ、講座・講演会を協働し、図書館運営の充実を図った。(別紙参照) R6.4月にメンバーの募集、応募者へのガイダンスを経て、新メンバーも加えて活動した。 令和6年12月には、動物画家藪内正幸原画展や藪内竜太氏の講演会を開催し、企画から運営を行った。家族連れをはじめとする多くの市民が来場した。 (2) 職場体験の受入 山形六中の特別支援学級、芸工大生を受け入れた。 (3) 図書館協議会での意見や要望等の図書館運営への反映 ・小・中学生と高校生が選書した「本の福袋」事業やおすすめ本特集への参画 ・「ツイート短歌講座」による異世代間交流の実施 ・司書職(会計年度任用職員)2名配置 R4～ ・読み聞かせ方スキルアップ講座の開催
評価	成果	□ 図書館ボランティア団体「小荷駄のみどりから…」からの協力を得て、「おはなしのひろば」等の事業を行ったほか、玄関展示で活動紹介を行った。
	課題改善案	■ メンバーを募集し、新しいボランティアが加入したが、メンバーは高齢化しており減少傾向にある。協力し事業を次世代へ引き継ぐ努力が必要である。ボランティア支援の在り方を共に考えていく。

■取組8 質の高いサービスを支える体制の整備



取組の目的・概要(運営方針)	取組の実施状況(実績)
(1) 専門性の向上(G4) 令和4年度から司書職の会計年度任用職員を2名追加配置したが、全職員の資質向上を図るため、館内研修の実施や、他団体等が開催する研修等へ参加する。 (2) 分館の充実(G4) ① 資料の貸出・返却、予約資料の受け取りなど、本館と分館間のネットワークの充実を図る。 ② 各分館のニーズ、利用者層、利用資料の傾向、規模等に応じた蔵書構成を図る。 (3)本のひろばの開設(G4 G11) 山形駅東西自由通路に本のひろば、山形市役所に本のひろば@市役所を開設し、高校生はじめ若者層や来庁した転入者等に本に親しむ機会を提供する。 (4)図書館情報システムの利便性向上(G4) 利用者にとってより利便性の高い図書館情報システムとなるよう運用の充実に努める。	(1) 専門性の向上 山形県図書館研究大会等への参加や内部の職員研修により、職員の資質向上を図った。 ・主な研修会 第44回山形県図書館研究大会 (10月28日、新庄市) 「本でつながる街の文化拠点に！！ 図書館と書店 共存共栄から共創へ」 (2) 分館の充実 ① 資料の貸出・返却、予約資料の受け取りなど、本館と分館間のネットワークの充実を図った。 ② 各分館のニーズ、利用者層、利用資料の傾向、規模等に応じた蔵書構成を図るとともに、分館相互で資料を融通した。中央分館、北部分館では季節や時節の話題に沿った特集コーナーを設け、利用者へのアピールを図った。 ③ リノベーションを行った中央分館では、星座に関するDVDの上映会やブックカフェなどを開催した。 (3)本のひろば開設 取組6(3)「本のひろば・出張貸出(出前図書館)による図書館のPR」参照 (4)図書館情報システムの利便性向上 R6.6月のシステム更新を行い、これまで寄せられた利用者からの要望を整理し、反映させた。 ・主な機能 ① LINE連携による蔵書検索及び予約、予約本の受取り連絡 ・LINEを含めたインターネットによる予約率

		74.6% (12月末現在) ② スマートフォン等での貸出しバーコード表示 (5)長寿命化に向けた安全・安心で魅力ある施設の整備(G4 G11) 施設の老朽化に伴う計画的な改修を実施し、安全・安心に利用でき、かつ魅力ある施設整備を推進する。今年度は、受変電設備改修工事を実施する。 (6)危機管理体制の整備(G4 G11) 危機管理研修の開催や災害発生を想定した訓練を実施する。	(5)長寿命化に向けた安全・安心な施設環境の整備(G4 G11) 受変電設備改修工事(R6.3～R7.1) 作業は原則、月曜日に行うため、工事に伴う休館はせずに実施。 (6)危機管理体制の整備 通常の消防訓練に加え、災害(地震)発生を想定した訓練を実施予定。
評価	成果	☐ 将来的なシステムの利便性向上のため、旧システムに寄せられた要望を整理し、課題を解消できるようシステム更新を行った。 ☐ 長寿命化に向けた安全・安心な施設として、受変電設備の改修を行った。	
	課題改善案	■ 図書館システムによる利便性向上を引続き図っていく。 ■ 利用者が、安全・安心に図書館を利用できるよう引き続き、施設の計画的な改修及び維持管理を行っていく。	

令和6年度講座・催物一覧

資料 1 別紙

【一般向け講座・催物】

	開催日	行事	内 容
1	5 月 11 日(土)	朗 読 会	上桜田の物語を聞く一芸工大生がつくった短編集朗読会— (東北芸術工科大学学生、朗読の会幻耶 水戸部幸子氏 24 人)
2	6 月 8 日(土)	講 演 会	小荷駄のみどり出版文化賞受賞記念講演会 市民講座「地域研究誌『雑草の唄』にみるやまがたの暮しと祈り」 (雑草の唄倶楽部 会員 野口一雄氏 28 人)
3	6 月 12 日(水)	講 座	「世界かんがい施設遺産」登録記念 市民講座「山形五堰 見どころ巡り」 (農村整備課計画指導係職員 44 人)
4	6 月 15 日(土)	出前図書館	出前図書館 in やまがたえきまちなかマルシェ
5	6 月 30 日(日)	コンサート	プレ・プチ・平和コンサート イン 図書館 (山形県少年少女合唱団、南沼原キッズコーラス 50 人)
6	7 月 13 日(土)	講 座	ツイート(つばやき)短歌講座 (佐藤紀之氏 16 人)
7	7 月 27 日(土)	上 映 会	中央分館 星座に関する DVD の上映会(6 人)
8	8 月 1 日(木)	研 修 会	学校図書館図書整理員研修会 (大場恵子氏 南部公民館 36人)
9	7月27日(土)～ 8月29日(木)	展 示	戦争と平和の資料展(2階展示ホール)
10	8 月 10 日(土)	講 演 会	今、パレスチナで起きていること:ドキュメンタリー映画から考えるパレスチナ問題 (山形県立米沢女子短期大学学長 阿部宏慈氏 31 人)
11	8 月 31 日(土)	交 流 会	中央分館 「おとなの押し本」イベント (6 人)
12	9 月 8 日(日)	講 演 会	学校に足が向きづらいお子様の理解と対応—「ないもの探し」から「あるところ探しへ」— (山形大学地域教育文化学部教授 佐藤宏平氏 31 人)
13	9 月 21 日(土)	部 活 動	りぶ活 yamagata①

14	9月22日(日)	ブックカフェ	中央分館 ブックカフェ (月岡涼二氏 29名)
15	9月22日(日)	講座	中央分館 カフェ講座 (月岡涼二氏 18名)
16	10月5日(土)	部活動	りぶ活 yamagata②
17	10月13日(日)	おまつり	秋の図書館えんにち in 南部公民館まつり
18	10月19日(土)	部活動	りぶ活 yamagata③
19	10月26日(土)	ビブリオバトル	高校生主催ミニビブリオバトル (山形県立中央高等学校 15人)
20	10月27日(日)	講座	ツイート短歌講座 (佐藤紀之氏 11人)
21	11月2日(土)	部活動	りぶ活 yamagata④ (井上幸弘氏)
22	11月30日(土)	部活動	りぶ活 yamagata⑤ (井上幸弘氏)
23	12月7日(土)～ 12月15日(日)	展示	動物画家薮内正幸原画展(2階展示ホール) 655人
24	12月7日(土)	講演会	薮内正幸原画展関連イベント「好きこそものの上手なれ～稀代の動物画家薮内正幸の生涯～」 (薮内正幸美術館館長 薮内竜太氏 29人)
25	12月14日(土)	部活動	りぶ活 yamagata⑥
26	12月22日(日)	読み聞かせ	方言で語る日本の昔ばなし
27	1月4日(土)～	本の福袋	新春 本の福袋(98袋) (市内高校3校、中学校1校、小学校3校 47袋協力)
28	1月26日(日) (予定)	講座	0・1・2歳のおはなし会講座—絵本の選び方とわらべうたの手法—
29	2月22日(土)～3 月23日(日) (予定)	展示	2024市民の出版物展 (2階展示ホール)
30	3月9日(日) (予定)	講演会	不登校の現状とこれから (山形大学地域教育文化学部教授 安藤耕己氏)
31	3月15日(土) (予定)	講演会	市民の出版物展記念講座「〈居場所〉のつくrikata！ ～いま・ここからの支え合い活動入門～」 (学びの場づくり NPO「よりみち文庫」共同代表 滝口克典)

【乳幼児・児童向け講座・催物】

	開催日	行事	講師・演者等	備考
1	毎週木曜日	絵本とあそぼう (0～2歳)	くまさんの会 おひさま文庫	31回 参加者 547人
2	月1回 (日曜日)	おはなしのひろば (幼児～小学生)	「小荷駄のみどり から…」	9回 参加者 167人
3	月1回 (土曜日)	おはなし会 ～耳からきく読書～	ききみみの会	9回 参加者 163人
4	月1回 (日曜日)	べにっこひろばでおはなし会	「小荷駄のみどり から…」	7回 参加者 341人
5	年4回 (春・夏・秋・冬)	絵本とわらべうたのひろば (2～4歳)	海和三枝子氏 梅津登喜子氏 古瀬孝子氏 佐藤美芳氏 保科祐子氏	夏の巻(7/7) 参加者 10人 秋の巻(10/6) 参加者 7人 冬の巻(12/1) 参加者 8人
6	毎週水曜日 第4土曜日	きくちえつろうさんと 楽しむおはなし会	菊地悦郎氏	40回 参加者 314人
7	4月21日(日)	絵本と童話の作家 深山 さくらさん作家活動20 周年記念 読み聞かせ講 演会	深山さくら氏	参加者 28人
8	7月9日(火)	出前図書館 in 西山形小		参加者 16人
9	7月28日(日)	夏休み自由研究相談会	阿部勉氏、 図書館職員	参加者 7人
10	8月4日(日)	みるみる書ける読書感想 文講座	佐藤紀之氏	参加者 14人
11	9月7日(土)	芸工大生によるアートワ ークショップ	東北芸術工科大学学 生	参加者 23人
12	10月12日(土)	大人もこどもも楽しい紙 芝居	山形紙芝居研究 会	参加者 7人
13	10月27日(日)	英語のよみきかせとうた の会	森俊樹氏	参加者 18人
14	11月28日(木)	交流図書館 in 西山形小		参加者 16人
15	12月8日(日)	モンテディオ山形岡崎 cc とディーオの一日館長	モンテディオ山 形	参加者 39人

16	12月20日(金)	出前図書館 in コパル	人形劇サークル とんとん	参加者 49人
17	12月21日(土)	キラキラクリスマスコンサート	山形市役所ウィンドアンサンブル	参加者 43人
18	1月25日(土)	とんとんの楽しい人形劇	人形劇サークル とんとん	(予定)
19	2月2日(日)	英語のよみきかせとうたの会	森俊樹	(予定)
20	2月15日(土)	出前図書館 in やまがた ウインターデーシェアスマイル		(予定)

「りぶ活 yamagata」について

「りぶ活 yamagata」

部活動の地域移行・地域連携を支援する事業として、図書館「Library」を活用し、本や図書館についての体験や交流を通して、楽しみながら学ぶ探究型活動の愛称。

1 活動方針

週末（土曜日の午前中）に集う同じ興味をもつ仲間と共に、図書館「Library」を十分に活用し、専門家の意見ももらいながら、交流を通じて学びを広げ深められるようにする。部活動のように探究心を満たす学びを体験できるようにする。

2 活動者、日程等

- ・活動者 市内の中学校1・2年生 5名（18名募集）
- ・活動場所 山形市立図書館本館
- ・日 程 令和6年9月21日（土）～12月14日（土）まで 全6回（裏面参照）
- ・活動時間 10：00～11：45（15分程度の休憩有）
- ・指導者 図書館ボランティアサークル ききみみの会 井上幸弘氏
図書館職員（元小学校長）

3 課題

- ・開催回数について、参加者より8～10回ほどに増やした方が余裕をもって活動ができるとの意見があった。
- ・開催時期について、より早い時期からの開催を希望する意見があった。学校の部活動があるために参加できない可能性もあり、時期については検討を要する。
- ・一人一人にちらしを配布することができず、事業のことを知らない生徒も多かったのではないかと考えられる。

4 今後の方針

- ・来年度は回数を増やして開催する。
- ・今年度参加した生徒の意見を受け、開催時期について検討する。
- ・来年度は、他の部活動とともに、市（文化スポーツ部）で作成するちらしに「りぶ活 yamagata」を掲載してもらうよう依頼する。
- ・指導者として、専門家への講師依頼を検討する。

令和6年度活動内容

- 第1回 令和6年 9月21日(土) 自己紹介、図書館探検、活動話合い
- 第2回 令和6年10月 5日(土) 読み聞かせ活動のための選書(大型絵本、紙芝居)
- 第3回 令和6年10月19日(土) 読み聞かせの練習、ポスター・チラシ製作
- 第4回 令和6年11月 2日(土) 講師による読み聞かせの指導
- 第5回 令和6年11月30日(土) ベにっこひろばにて読み聞かせ披露
- 第6回 令和6年12月14日(土) 振り返り、活動のまとめ



講師による指導

ベにっこひろばでのおはなし会
イベントの告知



ベにっこひろばで読み聞かせ



令和 6 年度利用者アンケートの概要

1 目的

山形市立図書館の運営やサービス状況を把握し、今後の図書館運営の改善方法を探るための基礎データとする。

2 実施期間

令和7年1月18日(土)～28日(火)

※実施期間中の休館日

	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	開館日数
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
本 館			休							休		9 日
中 央				休							休	9 日
東 部		休								休		9 日
北 部	休	休								休		8 日
霞 城	休	休								休		8 日

3 調査対象

山形市立図書館(本館・中央分館・東部分館・北部分館・霞城分館)の来館利用者及びインターネット経由での回答を受け付けた。令和6年度より、インターネットの二次元コードを記載したチラシを積極的に配布し、インターネット経由の回答を促した。

4 アンケート回収数

	紙によるもの			ネット 回答数	回答数 合計	(参考)期間中の 貸出者数
	交付数	回収数	回収率			
本 館	454	228	50%	150	378	4,102
中 央	186	61	33%	31	92	452
東 部	70	39	56%	15	54	256
北 部	53	29	55%	30	59	463
霞 城	105	66	63%	59	125	698
計	868	423	49%	285	708	5,971

【令和 5 年度の状況】

交付数 1,300(本館 600・中央分館 200・東部分館 53・北部分館 150・霞城分館 250)

回収枚数741、回収率 57.0%

インターネット回答数 78

令和 7 年度図書館事業（案）（予定を含む）

【定例催物】（乳幼児・児童向け）

	行 事	講師・演者など	開催日	備 考
1	絵本とあそぼう （0～2歳）	くまさんの会 おひさま文庫	毎週木曜日	
2	おはなしのひろば （幼児～小学生）	「小荷駄のみどり から・・・」	毎月 1 回 （日曜日）	
3	おはなし会 ～耳からきく読書～	ききみみの会	毎月 1 回 （土曜日）	
4	べにっこおはなしのひろ ば	「小荷駄のみどり から・・・」	毎月 1 回 （日曜日）	
5	絵本とわらべうたのひろ ば（2～4歳）	海和三枝子 氏 梅津登喜子 氏 古瀬孝子 氏 佐藤美芳 氏 保科祐子 氏	年 4 回	
6	きくちえつろうさんと楽 しむおはなし会	菊地悦郎 氏	毎週水曜日／ 毎月 1 回 （土曜日）	

【講座・催物】（予定）

開催日	内 容	対象
不定期	出前・交流図書館（小中学校等）	小中学生
4 月	竹永絵里氏によるオリジナルイラストのしおり作りワー クショップ	小学生～高校生
6 月	小荷駄のみどり出版文化賞受賞記念講演会	一般
6 月	プレ・プチ・平和コンサート in 図書館	小学生～一般
7 月	自由研究相談会	小中学生
8 月	読書感想文相談会（小中学生）	小中学生
8 月	学校図書整理員研修会	学校図書館職員

8 月	戦争と平和の資料展	小学生～一般
8 月	平和都市宣言事業 「平和の尊さを考える講演会」	一般
9 月	図書館えんにち	
10 月	大人もこどもも楽しい紙芝居	小学生～一般
12 月	キラキラクリスマスコンサート	小学生～一般
1 月	人形劇サークルとんとんの楽しい人形劇	幼児～小学生
未定	りぶ活 yamagata	中学生
未定	短歌講座	一般
未定	市民の出版物展	小学生～一般
未定	市民の出版物展関連講座	一般
未定	絵本の読み聞かせ講座	一般
未定	学校訪問おはなし会	小学生
未定	小荷駄のみどり共催市民講座	一般

「山形市教育大綱」及び「山形市教育振興基本計画」に基づき、「生涯学び、人と地域とかかわり、よりよい社会を築く人づくり」を目指します。

また、山形市立図書館基本方針に基づき、生活の充実、地域課題や生活課題への市民の主体的学習を支援するため、多様な資料・情報の充実に努め、身近な情報拠点、地域文化の創造の場としての図書館、さらに市民とともにさまざまな企画や図書館運営を図ることにより、市民のニーズを反映し、市民に身近で親しまれる図書館を目指します。

1 山形市教育振興基本計画における施策の展開

施策の方向 2 生涯学習の推進

基本施策 5 生涯学び、人と地域とかかわり、よりよい社会を築く人づくり

施策 5-2 市民の主体的学習を支援する図書館運営



この計画では、将来にわたり持続可能な社会の実現に向けて、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献することを目指します

2 具体的な施策と取組の目的・概要

施策の方向2	生涯学習の推進	基本施策5	生涯学び、人と地域とのかかわり、よりよい社会を築く人づくり
施策 5-2	市民の主体的学習を支援する図書館運営		
	図書館に求められる役割が、従来までの「借りる・読む・調べる」にとどまらず、利用者や地域の「課題解決に役立つ情報拠点」へと変化してきていることから、市民の主体的学習を支援するための、多様な資料・情報の充実に努めるとともに教養を高めるための多様な講座を開催する。 また、減少傾向であった利用者数及び貸出冊数は、コロナ禍前の令和元年度と比較して、8割まで回復してきているが、更なる回復増に向けた、魅力ある図書館の整備・運営を図っていく。		

■取組1 市民の立場に立った図書館サービスの充実



- (1) 乳幼児・児童向け資料の充実と子育て支援資料の提供 (G4)
 - ① 乳幼児・児童向け資料（絵本、物語等）の収集に努め、資料の充実に努める。
 - ② 子育てに役立つ絵本紹介パンフレット「絵本と遊ぼう」の作成・提供を行う。
- (2) 中高生向け資料の充実 (G4 G5)

中高生向けの資料の収集に努め、ヤングコーナーの充実を図る。

また、資格取得や起業を含めた中高生の進路選択に役立つ資料の収集を行う。
- (3) 高齢者・障がい者向け資料の収集と館内環境の整備 (G3 G4 G10)
 - ① 「読書バリアフリー法」(R1.6.28 施行)の目的に沿って、高齢者や障がい者が利用しやすい大活字資料や録音図書資料を収集し、手に取りやすい本の配置と環境の整備に努める。
 - ② 高齢者、障がい者、その家族の関心の高い趣味や医療・介護・福祉等の資料の収集に努める。
- (4) 来館困難者への資料提供 (G3 G4 G10)

団体貸出を通して、老人福祉施設や障がい者福祉施設に入所されている方への資料提供を行う。
- (5) 貸出カード登録率向上に向けた取組 (G4)

積極的な広報や周知、事業の開催、施設訪問など様々な取組を通して貸出カード登録率向上に努める。
- (6) 多言語資料の収集と案内掲示 (G4 G5)
 - ① 外国人とのコミュニケーション等に役立つ英語や、諸外国語の会話集等の資料の収集を行う。
 - ② 外国人が利用しやすいような多言語表記による館内の案内板や表示板などの充実に努める。
- (7) 清潔な館内環境の整備 (G3 G4 G11)

館内換気の徹底、手指消毒液の設置、図書消毒器・予約本受取ボックスの周知を継続する。

<成果指標>

目標名	実績			目標値	
	R4	R5	R6（見込）	R7	R8
貸出者数 （単位：人）	156,232	166,099	165,795	172,500	179,000
貸出冊数 （単位：冊）	733,326	775,454	742,113	833,500	872,000

■取組２ ICTを活用した情報提供の推進



(1) インターネット予約サービスの利便性向上（G4）

インターネットによる図書館資料予約サービス等の普及を促進していくとともに、より利便性の高いシステムとなるよう運用の充実を図る。

(2) メール・レファレンスサービスの普及（G4）

電子メールによるレファレンスサービスの利用拡大に努める。

(3) オンラインデータベースを活用した情報提供（G4）

法令情報や官報情報などのオンラインデータベースを活用した情報提供の周知に努め、利用拡大を図る。

(4) 時代に対応した新しい図書館情報システムの活用促進（G4）

令和6年度のシステム更新に伴う新たな機能追加により、利便性が向上したが、更に活用促進を

図

るため、引き続き、周知・案内を強化する。

・利便性が向上した機能

① スマートフォン等での貸出しバーコードの表示により、カードを持参しなくても利用が可能となった。

② 利用者がインターネット上で、自分の読書履歴を確認することが可能となった。

③ LINEとの連携により、資料の検索や予約が可能となったことに加え、予約本の準備など、図書館からの連絡も容易となった。

(5) 電子書籍サービスの導入検討（G4）

電子書籍サービス導入に向けた検討を行い、合わせて広域による導入についても検討する。

<成果指標>

（単位：％）

目標名	実績			目標値	
	R4	R5	R6（見込）	R7	R8
インターネット 予約率	79.4	79.7	74.7	79.5	80.0

■取組3 資料の収集・整備・保存とその提供の充実



(1) 蔵書管理と収蔵スペースの有効活用 (G4)

- ① 提供できる資料について、市民ニーズや資料収集方針に基づき、適切な質・量の確保に努めるとともに、限られた収蔵スペースの有効活用を図る。
- ② 保育園、幼稚園などの施設や各種団体、一般利用者に除籍資料を提供し、リサイクルに努める。

(2) 郷土資料の充実 (G4 G11)

- ① 郷土に関する資料等の発行情報の把握に努め、図書、雑誌、パンフレット、チラシ、音声・映像資料等を幅広く収集し提供する。
- ② 前年中に出版された郷土関係の書籍について、「市民の出版物展」として2月下旬～3月中旬にかけて展示する。

(3) 地域課題解決の取組支援 (G4 G11)

- ① 山形市、山形県で発行している行政資料や地図等を収集し提供する。
- ② 起業、資格取得や就労等を支援していくための資料を収集し提供する。
- ③ 子育て、教育、医療、健康、福祉、まちづくり等の市民生活や地域を豊かにするための資料を収集し提供する。

(4) レファレンスサービスの向上と充実 (G4)

- ① レファレンスニーズに対応できる資料の整備や、研修等による専門能力の向上を図り、サービスの向上と充実を図る。
- ② 国立国会図書館レファレンス協同データベース、国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービス及び法令情報や官報情報などのオンラインデータベースを活用し、レファレンスサービスの充実に努める。
- ③ レフェラルサービス（利用者が求めている情報に関して、情報源となる人又は機関、組織を知らせるサービス）の蓄積した情報を整理し、将来のサービスに活用する。

(5) 視聴覚資料の提供 (G4 G11)

- ① 児童・青少年健全育成、地域福祉をはじめ、社会教育に役立つ視聴覚資料を、地域で活動する社会教育団体等へ提供する。

■取組４ 多様な学習の機会や活動・発表の場の提供



(1) 講座・講演会の開催 (G4 G11)

郷土の歴史や身近な市民のニーズに応える各種講座や、読書週間にあわせた講演会、郷土出身の作家等を招いた講演会を企画、開催する。

(2) 「課題解決に役立つ」実践的なワークショップの開催 (G4 G11)

利用者や地域の課題解決に役立つ実践的ワークショップを開催する。

(3) 幼児・児童向け事業の充実 (G4 G17)

「絵本とあそぼう」、「おはなしの広場」などのおはなし会のほか、紙芝居や人形劇などの多様なイベントにより、幼児・児童が物語等に親しむ機会を提供し、読書活動の推進を図る。

事業実施においては、図書館ボランティアの協力を得ながら、参加しやすい雰囲気づくりに努める。

(4) 展示会のタイムリーな開催 (G4 G11)

① 読書への関心を高めるため、読書週間等にあわせて資料を展示する。

② 山形市平和都市宣言事業として戦争と平和への取組に関する資料を展示する。

③ 開催する講座・講演会のテーマに沿った資料を展示する。

(5) 事業実施における図書館ボランティアとの協働 (G4 G17)

上記の各種講座・講演会や事業、展示会等の企画・運営は、図書館ボランティアと協働で行う。

■取組５ 学校図書館等との連携と教育活動への支援



(1) 学校図書館の運営支援 (G4 G17)

① 学校図書館の運営を支援するため、図書整理員研修会を開催する。

② 学校を訪問し、学校図書館の運営の工夫や課題について、学校からの相談に基づき情報交換や助言等の支援をする。

(2) 探究型学習の支援の充実等 (G4 G17)

① 児童・生徒の探究型学習支援のため、学校の要望に応じた〈テーマ別セット〉の貸出しのほか、図書館より遠方の学校に直接本を届けるなど、学校の利便性向上を主眼とした「山形市児童・生徒 読書全力応援プラン」を推進して、学校との連携強化と読書機会の拡充を図っていく。

- ② 夏休み自由研究相談会、読書感想文書き方講座を開催するほか、自由研究のテーマ選定や研究の進め方などに役立つ図書を展示するなど、児童・生徒の探究型学習を支援する。
- ③ 学校との共催による学校訪問おはなし会を、図書館ボランティアの協力を得て実施する。
- (3) 職場体験学習等の受け入れ (G4 G17)
 - ① 中学校2年生の職場体験学習をはじめ、児童・生徒の職場体験や就業体験を受け入れる。
 - ② 小学校のまち探検や社会科見学、中学校の社会科学習等の図書館見学受け入れをとおり、図書館の理解と児童・生徒の利用促進を図る。
- (4) 「りぶ活 yamagata」の実施 (G4 G17)

部活動の地域移行・地域連携を支援する事業として、図書館「Library」を活用し、交流を通じて楽しみながら学び、探究心を満たす学びを体験できるような内容で実施する。

 - ① 図書館を活動の場として、週末に同じ興味を持つ仲間と共に活動する。
 - ② 図書館についての体験や交流を通じて、楽しみながら学ぶ探究型活動を実践する。
- (5) 「としょかんKids」の発行と学校との協力 (G4 G17)

児童・生徒の図書館利用を促進するため、本の新聞「としょかんKids」を発行し、学校の協力のもと児童・図書整理員からのお気に入りの本や季節毎のテーマによる児童書の紹介を掲載する。
- (6) 幼稚園・保育所等への資料提供と読み聞かせの実施 (G4 G17)
 - ① 幼稚園・保育所等へ団体貸出により資料を提供する。(放課後児童クラブを含む)
 - ② 園児に図書館利用の楽しさを感じてもらえるよう、図書館見学などを受け入れる。
 - ③ 読み聞かせの依頼を受け、図書館ボランティアの協力を得ながら、訪問し開催する。

■取組 6 広報・広聴及び情報発信の充実



- (1) 図書館だよりの発行 (G4 G17)
 - ① 「図書館だより べにばな」を発行し、利用案内、催し物の開催、図書館ボランティアの活動状況等の情報提供を行う。
 - ② 本の新聞「としょかんKids」を発行し、紹介本を通して児童・生徒の図書館利用を促進する。
- (2) 広報やまがた・市公式ホームページを通じた情報提供 (G4 G11)
 - ① 「広報やまがた」を活用し、催し物の開催や図書館利用に関する情報提供を行う。
 - ② 市公式ホームページやフェイスブックを活用し、利用案内や催し物開催等の情報提供を行う。
 - ③ 図書館ホームページで、蔵書案内、新着資料案内、催し物開催等の情報提供を行う。
- (3) 本のひろば・出張貸出(出前図書館)による図書館のPR (G4 G11)
 - ① 山形駅東西自由通路内に開設した「本のひろば」を活用し、高校生はじめ若者層に本に親しむ機会を提供するとともに図書館のPRと利用の拡大を図る。

② 市有施設等における出張貸出を行い、図書館のPRと利用の拡大を図る。

(4) 利用者アンケートの実施 (G4 G11 G17)

利用者アンケートを実施し、利用者の属性や図書館利用に関する意向・要望等の把握に努め、その結果を図書館運営に活用する。

■取組 7 市民参加による図書館運営



(1) 図書館ボランティアとの協働 (G4 G17)

図書の整理・修理、読み聞かせ、独自事業の企画などを行う図書館ボランティアと協働し、図書館運営の充実を図るとともに、展示会や講座等開催など活動の場を提供する。また、若手を含むメンバーの育成についても支援する。

(2) 職場体験の受け入れ (G4 G10 G17)

インターンシップや若者支援NPO、青少年及び一般成人の保護組織が実施する、職業体験、就労研修等を受け入れる。

(3) 図書館協議会での意見や要望等の図書館運営への反映 (G4 G16 G17)

図書館協議会における図書館に対する意見や要望等を、図書館運営へ反映させる。

■取組 8 質の高いサービスを支える体制の整備



(1) 専門性の向上 (G4)

令和4年度から司書職の会計年度任用職員を2名配置している。全職員の更なる資質向上を図るため、館内研修の実施や、他団体等が開催する研修等へ積極的に参加する。

(2) 分館の充実 (G4 G11)

① 資料の貸出・返却、予約資料の受け取りなど、本館と分館間のネットワークの充実を図る。

② 各分館のニーズ、利用者層、利用資料の傾向、規模等に応じた蔵書構成を図る。

③ 「居心地の良い空間づくり」を目的として令和5年度にリノベーションした中央分館では、令和6年度にブックカフェのイベントを開催するなど、更なる利用者層の取り込みを図った。引き続き、中心市街地という立地を活かし、学生やビジネスマン向けの蔵書を充実させるなど、魅力ア

ップを図る。

(3) 本のひろばの運用 (G4)

山形駅東西自由通路及び山形市役所 1 階に設置している「本のひろば」と「本のひろば@市役所」について、引き続き、高校生をはじめとする若者層や来庁者等に本に親しむ機会を提供する。

(4) 図書館情報システムの利便性向上 (G4 G11)

利用者にとってより利便性の高い図書館情報システムとなるよう運用の充実を図る。

(5) 長寿命化に向けた安全・安心で魅力ある施設の整備 (G4 G11)

施設の老朽化に伴う計画的な改修を実施し、安全・安心に利用でき、かつ魅力ある施設整備を推進する。

今年度は、親子づれが利用しやすい環境整備として、山形市産材「べにうっど」を活用した木のぬくもりを感じられる授乳室を設置する。

(6) 危機管理体制の整備 (G4)

危機管理研修の開催や災害発生を想定した訓練を実施する。

令和7年度「山形市児童・生徒 読書全力応援プラン」(案)

1 目的

山形市の児童・生徒が読書の楽しさを知り、本に親しむことができるように、山形市立図書館が積極的に支援を行っていきます。また、学校との連携を深め、資料の提供等の協力(応援)を行います。

2 取組内容

(1)市立図書館とつながる仕組みづくり

①団体貸出〔拡充〕

従来の団体貸出に加えて、以下のことを新たに取り組みます。

- ア)「学校お届け応援隊」と称し、団体貸出しを希望する学校に本をお届けする新たな体制を整備します。(詳細は別紙のとおり)
- イ)タブレット端末を活用して、児童・生徒が図書館ホームページから蔵書を検索、予約ができるよう体制を整備し、学校の団体貸出として貸出しを行います。
- ウ)団体貸出でよくリクエストされる<テーマ別セット>「宮沢賢治童話」や「いのちの学習」等、をあらかじめ準備したうえ、貸出しを行います。
- エ)小学校での外国語授業を考慮し、「英語えほん」セットを設けます。

②出前・交流図書館〔継続〕

- ア)小・中学校に出向き、市立図書館の利用についての説明や、所蔵している本の貸出しを行います。(出前)
- イ)出前図書館での学びを生かし、選書や貸出しを自分で行ったり、図書館の見学を行ったりなど体験型の学習を行います。(交流)

(2)市立図書館と学校の協働

児童開架の特集コーナーの設置〔新規〕

小・中学校からの協力を得て、館内に「学校のおすすめ本」の特集を組むことにより、児童・生徒の本や図書館への関心を高めます。

(3)その他

部活動の地域移行・地域連携事業「りぶ活 yamagata」の実施〔継続〕

【実施プラン一覧】

	小学校	中学校
取組内容	団体貸出	
	出前・交流図書館	出前図書館
	特集「学校のおすすめ本」の設置	
		「りぶ活 yamagata」

新団体貸出し(仮称)「学校お届け応援隊」について

1 実施内容

(1)対象校

本館(小荷駄町)から7kmを越え、かつ最寄りの分館から5kmを越えている学校(18校)が対象です。

①小学校:大郷小、明治小、出羽小、楯山小、高瀬小、山寺小、蔵王二小、蔵王三小、みはらしの丘小
本沢小、西山形小、村木沢小、大曾根小 (13校)

②中学校:第七中、第八中、高楯中、山寺中、蔵王二中 (5校)

(2)回数:原則、1か月で2校まで

(3)冊数:図書館の配送は、1回につき100冊まで

(4)CD・DVD、セットマンガは除きます。

2 実施方法

学校からの依頼を受け、図書館が貸出し本の配送をします。返却については学校側でお願いします。

<事務の流れ>

	学 校	図 書 館
貸出	① 借りたい本を選ぶ ② 配送希望日の2週間前までに、図書館本館へファックスや電話で依頼 (配送日、冊数、返却予定日) ③ 本の受取り	① 受付(ファックス、電話) 依頼内容確認、対応可否の連絡 ② 本の収集、準備 ③ 団体貸出票の作成(貸出一覧添付) ④ 本の配送
返却	① 返却日を前日までに図書館本館へ連絡 ② 団体貸出票とともに本を図書館へ返却 (本館・分館どちらでも可) ③ 休館日と夜間はポスト利用可(北部分館と東部分館は公民館休館日の利用不可)	① 本の受取り(本館・分館) ② 返却確認 ③ 学校へ受取り確認の連絡 (ポスト返却の場合)

【参考】通常の団体貸出

資料の種類	貸出冊数	貸出期間
図書・雑誌・紙芝居	200冊	1カ月
CD・DVD	2点	2週間
セットマンガ	2点	2週間

関連資料

SDGs(持続可能な開発目標)と各施策との関連について

SDGsの17のゴール

1	貧困をなくそう	10	人や国の不平等をなくそう
2	飢餓をゼロに	11	住み続けられるまちづくりを
3	すべての人に健康と福祉を	12	つくる責任つかう責任
4	質の高い教育をみんなに	13	気候変動に具体的な対策を
5	ジェンダー平等を実現しよう	14	海の豊かさを守ろう
6	安全な水とトイレを世界中に	15	陸の豊かさを守ろう
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	16	平和と公正をすべての人に
8	働きがいも経済成長も	17	パートナーシップで目標を達成しよう
9	産業と技術革新の基盤をつくろう		

取 組		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																		
1	市民の立場に立った図書館サービスの充実			●	●	●					●	●						
2	ICTを活用した情報提供の推進				●													
3	資料の収集・整備・保存とその提供の充実				●							●						
4	多様な学習の機会や活動・発表の場の提供				●							●						●
5	学校図書館等との連携と教育活動への支援				●													●
6	広報・広聴及び情報発信の充実				●							●						●
7	市民参加による図書館運営				●						●						●	●
8	質の高いサービスを支える体制の整備				●							●						

関係法令（抜粋）

図書館法

（図書館協議会）

第14条 公立図書館に図書館協議会を置くことができる。

2 図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関とする。

山形市立図書館条例

（協議会）

第7条 法第14条第1項の規定により、図書館に、山形市立図書館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、委員12人以内をもって組織する。

3 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が任命する。

- （1）学校教育及び社会教育の関係者
- （2）家庭教育の向上に資する活動を行う者
- （3）図書館に関するボランティア活動を行う者
- （4）学識経験のある者

4 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

山形市立図書館条例施行規則

（委員長等）

第18条 条例第7条に規定する山形市立図書館協議会（以下「協議会」という。）に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選によって定めるものとし、その任期は、2年とする。

3 委員長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第19条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、会議の議長となる。

（意見の聴取）

第20条 協議会は、必要に応じ、委員以外の者に会議への出席を求め、その意見を聴くことができる。

（庶務）

第21条 協議会の庶務は、図書館において処理する。

令和6年度第2回山形市立図書館協議会 事前質問・意見と回答

1 4 報告（1）令和6年度図書館事業について（中間報告） … 資料1・別紙

	質問・意見	回答等
1	資料1「取組1 市民の立場に立った図書館サービスの充実」【3ページ】 ヤングコーナーの充実等、中高生への対応は十分に生かされ、全館的な雰囲気も良く、貸出者が増えていると考えていたので、貸出者数が伸び悩んでいるのは残念である。 市老人クラブやシルバー人材センター等と連携し、会合の前後に出前図書館を開催することにより、貸出者数の増加につなげることはできないか。	年代別では中高生世代が最も貸出し利用が少ない現状であり、課題であると考えております。 今後も、高齢者を含め、本に親しむ機会を提供するとともに図書館のPRと利用の拡大を図ってまいります。
2	資料1「取組2 ICTを活用した情報提供の推進」 （3）オンラインデータベースを活用した情報提供」【4ページ】 国立国会図書館の利用状況について、今年度現時点で利用がなく、活用されていない状況である。 本サービスの周知を図るため、図書館のレファレンス室を利用した研修会を土曜日に開催してはどうか。	国立国会図書館のオンラインデータベースの活用については、市報や館内掲示による周知を図るとともに、館内における研修会の開催を検討してまいります。
3	資料1「取組2 ICTを活用した情報提供の推進」 （4）時代に対応した新しい図書館情報システムの検討」【4ページ】 令和5年度第2回の本図書館協議会において、「電子図書館」導入に向けた現状と課題についてお聞きしたが、1年経過後	「電子書籍サービス」は、令和7年度の導入に向けて、広域連携を含めた検討を行っております。 導入にあたっては、「新しい地方経済・生活環境創生交付金」を活用した事業の実施を想定しており、令和7年度の交付決定を目指し準備を進め、この2月に交付申請を行っております。今後は、その決定を受けて、令和7年末頃までに導入を見込んでおります。

	の検討状況についてお聞きしたい。	詳細については、予算確保の後、改めて報告をさせていただきたく予定としております。
4	資料1「取組3 資料の収集・整備・保存とその提供の充実」 （1）蔵書管理と収蔵スペースの有効活用【5ページ】 除籍本を小出しに提供したことはすごく良いことだと思う。1冊でもいただくと、人間の心理でまた出かけ、自分のお気に入りがあれば読みたくなってくる。できることなら、いろんなジャンルを取り混ぜて提供してほしい。	除籍本は各ジャンルの本を提供しており、雑誌は土・日に配布するタイトルの予定を組み、玄関前に掲示しております。その他の本については、館内に数か所の場所を設け、終日小出しで展示しております。 展示できる冊数がスペースの関係であまり多くないため、一度に各ジャンルの本をまんべんなく置くことは難しいのですが、来館するたびにいろんな本を見ていただけるよう、工夫してまいります。
5	資料1「取組5 学校図書館等との連携と教育活動への支援」 （2）探究型学習の支援の充実等【9ページ】 探究型学習（中・高校生）、学校訪問お話し会、大学生のインターンシップ等の活動の広がりが見え、すばらしい。また、リブ活も楽しみな試みであり、令和7年度も期待したい。 探究型学習には、学校から依頼される課題に沿った本のみを持参し選んでもらっているのか。 各学校に訪問する際、課題とは離れていると思うが、ぜひ、絵本やほっこりするような童話、小中学校の国語の教科書に載っている本など30冊ぐらい持参し、手に取ってもらいたい。その場で「本の話」が広がるような気がする。課題解決は必要だが、ちょっと息をつき、リラックスするのも良いのではないかな。	小中学校における探究型学習の支援として行っている「団体貸出」については、課題解決に必要な「調べ学習」に関わる本の他に、学校のニーズに応じて図書館が提案した本を準備するなど、学校との連携や支援を図りながら団体貸出しを行ってまいります。 ※協議事項（2）の資料5「山形市児童・生徒 読書全力応援プラン（案）」を参照ください。

6	資料 1 「取組 6 広報・広聴及び情報発信の充実」 (3) 本のひろば・出張貸出による図書館 P R 【 1 2 ページ】 椅子に座っている人、子どもに絵本を読み聞かせしている人など、良い空間になりつつあるとうれしく思う。本もよく動いて活用されている。しかし、年代にもよると思うが、文庫本を手にする人は意外に少ないようだ。 山形市の作家はもちろんだが、近辺の市町村が舞台になったり、登場人物が山形出身の設定など本の幅を広げ、結果として山形市を知ってもらえればうれしい。山形駅の本の紹介者を農業・酒・果実栽培と広げてはどうか。今年は、山形県でさくらんぼや西洋なし等の栽培が始まってから 1 5 0 年の記念すべき節目のとなっているので、そういった機会を利用した展示を行ってはどうか。	山形駅東西自由通路内の「本のひろば」と市役所 1 階の「本のひろば@市役所」については、気軽に本に親しんでもらい、休憩や待ち合わせの場所としても多くの市民から親しまれる場所となっております。 展示については、現在、山形にゆかりのある著名人や文化人等からおすすめの本を紹介していただいております。 今後は、市や県等が実施する事業との連携を行うなど、様々な観点から山形を P R する場としての活用を検討してまいります。また、他自治体や学校等と連携し、更なる読書機会の創出、読書環境の向上に努めてまいります。
7	資料 1 別紙「令和 6 年度講座・催物について」 1 1 月 2 8 日に実施された交流図書館について 西山形小学校では、交通手段としてバス利用となることで時間的にもゆとりがなくなるのではないのか。県庁などの見学コースの一環として組み込んだのであれば、他の学校にも広げることができるのではないか。また、市立図書館から離れた学校では、市の福祉バスなどを利用させてもらえるのであれば費用がかからずに図書館を利用できると考える。多くの児童に図書館を知ってほしい。	今年度初めて実施した「交流図書館」については、図書館の事業として実施することにより、学校と図書館の移動を市のマイクロバスを使用することが可能となりました。 今後は、図書館から距離があり、図書館の利用が難しい小学校や、規模の小さい小学校などを対象にして、来年度も実施してまいりたいと考えております。 ※協議事項（2）の資料 5 「山形市児童・生徒 読書全力応援プラン（案）」を参照ください。